09 トラブルシューティング

09.1 キーボード上の記号について

Piezosurgery®white は動作異常を検出し、その異常個所を術者が認識できるようキーボード上に警告表示が点灯します。術者は検出された動作異常の箇所を確認し、以下の方法で対応してください。

警告表示	原因	解決方法
	ハンドピースの、本体に接続する部分が濡れている。	エアーを吹き付け、接続部を完全に乾燥させてください。
	ハンドピースの、本体への接続不良。	ハンドピースを再接続してください。
	ハンドピースの故障。	ハンドピースを交換してください。
	同期回路の故障。	取扱店に連絡してください。
	インサートチップの、ハンドピースへの接続不良。	インサートチップを一旦取り外し、再度ダイナモレンチを使用して正しく締め直します。(05.4 項参照)
	インサートチップの破損、磨耗、変形。	インサートチップを交換してください。
	ハンドピースの、本体に接続する部分が濡れている。	エアーを吹き付け、接続部を完全に乾燥させてください。
	蠕動ポンプの動作不良。	ポンプの回転を阻害するものがないか確認してください。
	イリゲーションキットの、蠕動ポンプ内へのセッティング不良。	イリゲーションキットをポンプ内に正しくセットしてください。(04.3 項参照)
	本体の電源を OFF にした後、5 秒以内に再度 ON にした。	本体の電源を OFF にした場合、5 秒以上経過後に再度 ON にしてください。
	電源ネットワークの異常、または過度な静電放電、あるいは本体内部の故障。	本体の電源を一旦 OFF にし、5 秒以上待って再度 ON にします。 警告表示が再度点灯する場合は、取扱店に連絡してください。
	フットペダルを踏んだ状態で、電源を ON にした。	フットペダルが踏まれていないか確認してください。 解決しない場合は、フットペダルを取り外します。 必要があれば取扱店に連絡してください。

09.2 故障かな？と思ったら

症状	原因	解決方法
電源スイッチを ON にしても装置が起動しない。	電源コード端のコネクターが本体後ろにあるソケットに正しく挿入されていない。	電源コードが確実に挿入されているか確認してください。
	電源コードの故障。	電気コンセントが正常であることを確認し、電源コードを交換します。
	ヒューズの溶断。	ヒューズを交換します。 （09.3 項参照）
電源が ON であるのに、作動しない。 またキーボード上に、警告表示がでない。	フットペダルのコードが正しくソケットに挿入されていない。	本体後面にあるソケットに、フットペダルのコードを正しく再挿入してください。
	フットペダルの不具合。	取扱店に連絡してください。
電源が ON であるのに、作動しない。 またキーボード上の下記の警告表示のいずれかが点灯している。 	警告表示と原因については、09.1 項を参照ください。	警告表示と解決法については、09.1 項を参照ください。
Piezosurgery®white を使用中、ハンドピースより笛のような音がかすかに聞こえる。	インサートチップがハンドピースに正しく装着されていない。	一旦インサートチップを取り外し、ダイナモレンチを使用して正しくハンドピースへ再装着します。（05.4 項参照）
	注水回路への水の充填不足。	ポンプ機能により、注水回路に水を充填します。（05.4 項参照）

症状	原因	解決方法
操作中、チップから注水されない。	注水機能がないタイプのインサートチップを使用している。	注水機能のあるタイプのチップを使用する。
	インサートチップの注水孔が詰まっている。	一旦インサートチップを取り外し、エアーを吹き付けて注水孔を通します。解決しない場合は、新しいインサートチップに交換してください。
	ハンドピースの注水管が詰まっている。	取扱店に連絡してください。
	流量設定が「0」になっている。	流量設定を調節します。
	生食バッグが空になっている。	生食バッグを交換してください。
	ディスチャージのチャンバーにある通気孔が開いていない。	チャンバーにある通気孔を開いてください。
	ポンプチューブが正しく装着されていない。	ポンプチューブの装着状態を確認してください。
ハンドピース等の動作は正常だが、ポンプがスムーズに動作しない。	蠕動ポンプ可動部がチューブを強く押しすぎている。	ポンプチューブが正しく蠕動ポンプに装着されているか確認してください。（04.3 項参照）
蠕動ポンプは正常に回転するが、停止した際に、ハンドピースから水が出てくる。	蠕動ポンプのカバーが確実に閉じていない。	蠕動ポンプのカバーが確実に閉じているか確認してください。（04.3 項参照）
切削能力が弱い。	インサートチップがハンドピースに正しく装着されていない。	一旦インサートチップを取り外し、ダイナモレンチを使用して正しくハンドピースへ再装着します。（05.4 項参照）
	インサートチップが磨耗、破損、変形している。	新しいインサートチップに交換してください。